

令和5年度
学校だより No.9

北山っ子

茅野市立北山小学校
令和5年12月7日(木)
校長 宮坂 哲生

先日は、参観日にお越し頂き、本当にありがとうございました。久々に開催した給食試食会にも多くの方にご参加頂き、大変ありがたかったです。本校の給食は、地域の皆様に支えて頂き、北山の野菜が毎日使われ、みんなでおしく頂いています。そんな点からも、地元のよさを感じている子ども達です。

また、4年、5年、さくら・ひまわり学級の販売活動も温かく支えて頂き、本当にありがとうございました。おかげさまで、充実した学習ができ、子ども達の達成感につながりました。



ライバルは自分



11月2日にマラソン記録会を行いました。この日に向けて子ども達は、体育の時間や休み時間、朝の時間を使って、自分のペースで走り込んできました。

言うまでもなく、マラソンは自分との戦いです。もちろん、隣を走る〇〇さんは負けた

くない相手ですが、本当のライバルは昨日の自分、1週間前の自分。一生懸命に走る子ども達の表情には、“坂道がきついで、歩きたくはない”“足が痛いけど、あと1周だ”など、その子なりの負けん気が表れていました。そうした姿を、おうちのみなさんの拍手や声援が、後押ししてくれました。走り終わった後の子どもたちの表情はとてもすがすがしかったです。



笑顔いっぱい北山祭



10月20日に北山祭を行いました。前日から低学年の子ども達が、「明日楽しみだね」と、期待感を高めていました。この日のために、4・5・6年生が、楽しい企画を考え、準備を進めていました。どの委員会もチームワークよく、学年を越えて相談しながら準備してい

ました。そして当日、来てくれた人に対し、どうしたら楽しんでくれるか相手の気持ちを考えて動いていて、頼もしかったです。全校の人が、それぞれのブースを本当に楽しみ、笑顔溢れる北山祭になりました。



中心となった6年生が見せたの企画力・行動力は次への置き土産です。その次の6年生、またその次の6年生が、こうした伝統を引き継いでいきます。

また、PTA常任委員会の皆様のおかげで、子ども達の思いや工夫が詰まった御神輿も出来ました。子ども達が貼った飾りは、裏面の写真の様に、10センチ四方の中にその子なりの世界が広がっていま

した。描かれているような、おいしいお芋に舌鼓も打ちました。また、常任委員の皆さん製作の御神輿は、休みの日等を利用して作成してくれたものです。工夫や遊び心が随所に見られ、子ども達が引きつけられていました。本当に、ありがとうございました。



想像の世界に遊ぶ



11月24日、1,2年生が茅野市美術館を訪れました。4~6名のグループに一人のファシリテーターがついてくださり、作品鑑賞を行いました。左の写真はその一場面です。見ているのは、矢崎博信作「機械」という作品です。

例えば、美術館でこの作品の前に立ったとき、我々ならはどんなことを思うでしょう。「大胆な色遣いがおもしろい」とか「力強い表現で、機械の重々しさが感じられる」とか。あるいは「何の機械かな」とか「鉄製で、一昔前のものだろう」とか。大人の場合、自分の美的な感覚とか、知識と重ねて捉えると思います。

それと比較して、実際の子供達の声をもとに拾ってみると…。作品の様々な所に目を向け、発想を膨らませ、想像の世界を楽しんでいることが分かります。遊び心に溢れています。

もちろん子ども達だって、ただ作品と向き合うだけでは、発想は広がりません。ファシリテーターの方が問いかけ、受け止め、広げることで、見方がどんどん広がっていきます。絵の見方に答えはあ

りません。自分が感じたことが答えです。だから、子どもたちは安心して言葉を発します。鑑賞は、絵をみる楽しさを味わうと共に、「自らの頭で考え、判断し、行動する」そんな力を養う取り組みです。



お願い

○18日(月)より、個別懇談会が始まります。お忙しい所とは思いますが、よろしくお願ひします。それぞれのお子さんが、自分なりにがんばった2学期です。その成長の姿や更なる成長のための課題を共有できればと思います。おうちの皆様からも、お子さんの姿について、様々お伝え頂ければ幸いです。